

今年度の主要な事業

「人権・多文化共生」「健康・福祉・医療・生涯学習」の分野

だれもがその人らしくいきいきと暮らし、つながり支え合うまち

- 福祉医療費助成事業 8億 3,938万 3千円
うち高校生世代までの医療費助成拡充分 1億 2,470万 7千円
現在、子どもを対象に実施している医療費助成（通院は小学生まで。入院は中学生まで。）について、令和6年4月診療分から、通院・入院ともに高校生世代まで対象を拡大しています。



- (仮称)図書館中部館整備事業 2,236万 7千円
旧ひこね燦ばれすを(仮称)図書館中部館として整備するため、令和5年度から引き続き基本設計を実施します。



▲ (仮称) 図書館中部館のイメージ

「子育て・次世代育成・教育」の分野

子ども・若者が自分らしく輝き、学び躍動するまち

- 施設型給付費等支給事業 30億 9,894万 1千円
子ども・子育て支援新制度に基づき、幼稚園・保育所・認定こども園・小規模保育事業・事業所内保育事業等に対する給付を行います。
育児休業からの職場復帰に向けた保育所入所に関する保護者の不安を解消するため、出産後の保育認定期間をこれまでの6か月から1年に延長するほか、これまでの第2子以降の育児休業終了後の入所予約に加え、令和6年度途中から第1子の育児休業終了後の入所予約を受け付けます。

- 学校給食費食材価格高騰対策事業
小学校分 3,921万 1千円
中学校分 2,013万円
世界的に食糧価格が高騰している中、保護者が負担する学校給食費を増やさないため、給食食材の値上がり分(1人当たり6,600円(年間))を公費で負担し、給食の安定供給と、保護者負担の軽減を図ります。



「歴史・伝統・文化」「観光・スポーツ」「産業」の分野

歴史・文化を生かし、にぎわいと特色ある産業が育つまち

- 彦根城世界遺産登録推進事業 1,678万 9千円
彦根城の世界遺産登録の実現に向けた取組を県市連携で行い、世界遺産に対する市民の理解をより一層深め、登録の機運を醸成します。
- 特別史跡「彦根城跡」保存整備および維持管理事業 2億 484万 2千円
うち彦根城天守耐震補強工事関係 4,453万 2千円
うち防災設備整備工事関係 1億 4,998万 5千円
特別史跡「彦根城跡」内にある国宝・重要文化財建造物の適切な維持管理と活用を図るため、彦根城天守の耐震補強工事および防災設備整備工事を行います。



▲ 彦根城天守の耐震工事の様子

- ひこにゃんに係る事業 4,326万 4千円
彦根および各種イベント会場にひこにゃんを登場させるほか、「ひこにゃん」商標の使用許諾業務のための申請受付、審査、契約および許諾状況の管理を行います。また、新たな展開を進めるなど、本市のPRにつながる各種事業を実施します。



- 「映画のまち・彦根」に係る事業 125万 4千円
新たにロケーション撮影で彦根を訪れた俳優の手形レリーフを作成し市内に展示するほか、令和6年度公開予定の映画とタイアップし、映画の公開に合わせて、監督トークショーやパネル展などを開催し、「映画のまち・彦根」をPRします。
引き続き、彦根市ロケーション誘致アンバサダーを設置し、積極的に映画やテレビ番組などのロケを誘致し、彦根の魅力について映像を通して全国に発信します。



▲ 映画「BAD LANDS バッド・ランズ」原田真人監督トークショー

「環境形成」「都市基盤」「安全・安心」の分野

豊かな自然と共生し、安全・安心で快適なまち

- ごみ焼却場整備事業 8億 8,370万 5千円
長寿命化計画に基づき、ごみ焼却施設の大規模修繕を行います(令和3年度~同6年度)。また、長寿命化工事期間中に生じた焼却しきれない可燃ごみの一部を外部搬出し処理を行います。



◀ごみ焼却施設

- 近江鉄道沿線地域公共交通再生事業 1億 8,287万 2千円
令和6年4月1日から近江鉄道線の上下分離(公有民営)方式への転換に伴い、第三種鉄道事業者となる一般社団法人近江鉄道線管理機構に対し、安全輸送設備への投資費用ならびに維持修繕費用、同機構の運営費を負担します。
また、鉄道事業再構築実施計画の進捗管理や法定協議会の運営を行う近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会へ運営費を負担します。

